

### 下関市・北九州市で「練習船 大島丸」体験航海を実施

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を一般の方にも知っていただけるよう、関係団体等と協力し、海事施設の見学会等を実施しています。

今般、当協会は、8月22日(火)下関市、翌23日(水)北九州市において、下関市港湾局・北九州市港湾空港局・九州海事広報協会・大島商船高等専門学校等と協力し、「練習船 大島丸」の体験航海等を実施しましたので、その模様をお知らせします。



乗船中の説明の様子

両日とも午前に実施した体験航海では、夫々約80名の参加者が乗船中の諸注意等について説明を受けた後、船を操縦する「船橋(ブリッジ)」や実習生の宿泊スペースなど「船内」を自由に見学しました。さらに、大島丸乗組員の先導により、「機関室(エンジンルーム)」の見学も行いました。



船橋から双眼鏡で港を見学



機関室内の様子

参加者は、船上から、関門海峡を行き交うコンテナ船・ばら積み船・RORO船など様々な船を間近で見学したり、乗組員の説明を受けながら双眼鏡で航行するそれらの船や港の様子を観察したりしていました。2023年3月に竣工したばかりの船内では、最新の航海機器や、高専の練習船で初となる女性専用スペースなどを見学することができました。

また、22日午後には海洋少年団の体験乗船が、23日午後には大島商船高専の出張オープンキャンパスが大島丸で実施されました。



船橋で操船の様子を見学



ロープワーク教室

当協会は、資料配布を行った他、ロープワーク教室の開催や海運に関する説明を行いました。参加者からは、「もやい結び（船をつなぎとめるための結び方）など日常生活でも利用したい」「船が無いと生活に大きな影響があることが良く分かった」「配布資料で船についてもっと勉強したい」といった声が聞かれました。

当協会では、今後とも皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

以上